



號 一 第 卷 一 十 第

行 發 日 一 月 一 年 五 十 正 大

回 四 年

目 次

近世女子結髮の淵源……………文學博士 高橋健自	足利義政の政治と女性(上)……………文學博士 三浦周行	醍醐本諸寺縁起所收『元興寺縁起』(下)……………文學博士 喜田貞吉	成吉思汗の挽歌に就いて……………文學士 鴛淵一	フェニキア語(又はカナン)語の Alphabet の起源及 ビモーゼの Inscription……………文學士 中原與茂九郎	三角縁神獸鏡年代考定上の一二の新資料……………梅原末治	日本海沿岸石器時代遺跡の地理學的考察(上)……………文學士 小牧實繁	西洋に於ける東洋の影響(特に中古期に於ける)(上)……………ゲオルク・ヤコブ著 ……………文學士 宮崎市定抄譯	カーター氏著『支那に於ける印刷の起源』……………文學博士 桑原隲藏	日本古建築研究の栞(十七)……………工學博士 天沼俊一	會 報 報 介
-------------------------	-----------------------------	-----------------------------------	-------------------------	---	-----------------------------	------------------------------------	--	-----------------------------------	-----------------------------	---------

內 部 學 文 學 大 國 帝 都 京

會 究 研 學 史

前 號 目 次

支那史上に於ける公私債務の免除……………	文學博士	加藤 繁
醍醐本諸寺縁起所收『元興寺縁起』(上)……………	文學博士	喜田 貞吉
ポリビオスの史風(下)……………	文學士	原 隨園
柳澤吉保の一面(下)……………	文學博士	辻 善之助
舊藩内外逋債處分(下)……………	……………	澤 田 章
正徳信使改禮の『教諭』原本……………	……………	武 田 勝藏
Schäfer 教授の故 Adams 教授……………	文學博士	三 浦 周行
所謂京都南蠻寺遺鐘の傳來に關する異説……………	文學博士	新 村 出
西歐羅巴の史的生活に於ける週期律……………	文學博士	エーノオーゲル原著
日本古建築研究の棗(十六)……………	工學博士	菅原 憲抄譯
紹介……………	……………	天 沼 俊一
彙報……………	……………	……………
會報……………	……………	……………

大正十四年度會計報告

會費領收報告

大正十四年度

總收入 一、三四二、七七七

內譯

前年度繰越金 五七二、七七七

納金 六四〇、〇〇〇

收入 三〇、〇〇〇

總支出 五五四、七四五

內譯

役員手當 一一七、〇〇〇

大會費 七四、五〇〇

例會費 三〇、七五〇

原稿料 一五九、五〇〇

郵稅雜費 三一、九九五

前年度末納會費 一四一、〇〇〇

差引殘額 六八八、〇三二

特別會計 一三六、一三〇

現在總計 八二四、一六二

幣原 坦	住田 智見	白澤 清人	笹川新太郎
阪倉篤太郎	千宗 守	佐々木彌四郎	杉浦 丘岡
島津家編輯所	佐賀高等學校圖書課	齋藤 隆三	齋藤 隆三
三條西公正	井上以智爲	今井 眞樹	稻葉 圓城
今井 楨三	伊木 壽一	石濱純太郎	猪熊 淺磨
出雲路通次郎	小川劍三郎	小野 玄妙	岡本 勇
増澤 淑	本山 彦一	森田 實	村治圓次郎
森田清之助	森野保次郎	森田 博三	黒田俊之助
佛敎史研究室	北島 貞顯	田中 俊清	友枝 照雄
富田 仙助	武田 五一	寺田 貞次	高橋 勝一
田邊 勝哉	高木 利太	武田孫一郎	植木直一郎
雲山 俊夫	井上久米雄	吉田小五郎	本甲 義英
洪 淳赫	中村 孝也	桂 五十郎	菊池謙二郎
上原菊之助	明石 國助	堀 維孝	若山善三郎
柴田 實	清水 福市	木島 誠三	坂本 太郎
岡本 隆男	堀場 義馨	下村三四吉	龍 肅
望月 信成	太田喜二郎	篠原 友雄	石塚 多
源 豊宗	伊藤 八郎	田中吉太郎	谷岡安三郎
藤 直幹	加藤鐵三郎	丹羽 圭介	米田 恭禮
今井 貞臣	深瀬 春一	守屋龍之助	服部 久雄
入江 義博	大島 五郎	内田 寛一	白石 捷一

鮎貝房之進	淺野 長武	小野 武夫	佐崎 重輝
伊達 彌助	高橋 俊乘	松平 直國	渡邊 多仲
牛山 秀樹	杉 勇	大館 宗憲	福原潛次郎
山川七左衛門	次田 潤	中島 俊司	龜崎光次郎
津川長次郎	佐古 慶三	福山 敏男	宮島 貞亮
西尾銈次郎	武田 祐吉	間所 武夫	栗原 助作
大森金五郎	廣野 三郎	口入巳覺了	吉澤 義則
藤井 乙男	藤井健次郎	羽田 亨	西田直二郎
内藤虎次郎	高瀬武次郎	鈴木 虎雄	島 文治郎
新坂 新藏	新村 出	榑 亮三郎	小島 祐馬
桑原 隱藏	狩野 直喜	石橋 五郎	今西 龍
荒木寅三郎	島山 喜一	近衛 文麿	竹村 越三
諏訪 義讓	小林 秀雄	村上直次郎	兒玉 九十
宗敦大學圖書館	相田 二郎	市村增次郎	島飼 生駒
安藤 正次	湯淺 長次	市村 與市	日高 重孝
内藤 馬藏	高橋萬次郎	山下 四郎	禿氏 祐祥
笠原 節二	尾佐 竹猛	松山 直藏	伊豫史談會
吉尾 長吉	植村 清二	林 一	西田 直
今井登志喜	吉川貞次郎	高瀬 承一	德富猪一郎
河村久三郎	清水 福市	岩見 藤雄	荒川萬壽夫
岸本 準二	本山 久平	齋藤清太郎	三上 參次
上原精一郎	中江 喬三	河島松太郎	關 信太郎
清岡 猛虎	大高 常丸	片岡 英宗	瀨内 亘
今井 貫一	宮地 直一	佐々木信綱	小田 省吾
松平 乘統	萩山 秀雄	森口奈良吉	阿川 重郎
本多辰次郎	富田 熊作	坂倉 準二	小津清左衛門

井上 琢磨	藤田 亮策	小倉 進平	上林敦次郎
關 保之助	沼田 賴輔	濱田 廉	布川 豊
櫻井 秀	牧 健二	衣笠 健雄	藤塚 鄰
橋村 博	香取 秀真	尾崎 庄助	藤田 精一
今宮 新	杉村勇次郎	津田 三郎	鹿島圓次郎
田中友次郎	白川 綱紹	高乘 勳	穗積 陳重
江藤 徵英	志田 義秀	三上 友雄	羽倉信一郎
廖 温仁	勝見 文良	清原 貞雄	山口 浩義
森 彦太郎	板澤 武雄	吳 文炳	岸 熊吉
中山再次郎	曾我 豊吉	自島 康吉	佐藤 山吉
辰馬 悅藏	勅使河原健之助	奥田 誠	波多野謙一
神田喜一郎	禹 浩翔	入江 相政	梶川 榮吉
森下 博	杉浦 隆次	林 森太郎	鈴木 登
圓谷 弘			

大正十五年度

笹川新太郎	大内 千秋	森野保次郎	高木 利太
若山善三郎	三宅 宗澄	林 若吉	藤田 伊人
増井 經夫	榑畑正太郎	小津龍之助	守屋龍之助(前半)
服部 久榮(前半)	駒井 毅(二、二五)	渡邊孫左衛門	
牛山 秀樹(前半)	杉 勇(前半)	上田 泰輔	
中島 俊司	村田又兵衛(二、二五)	津川長次郎(前半)	
福山 敏男(前半)	小林秀武(二、二五)	竹岡 勝也	
小林高四郎(二、二五)	大森金五郎	三上 嘉一	
有 高 嚴	柴田 喜八	富田 熊作	
井上 琢磨	香取 秀真		

THE SHIRIN

[JOURNAL OF HISTORY]

(QUARTERLY)

Volume XI. Number 1.

January, 1926.

CONTENTS :

Articles :

- Origins and Modes of Women's Coiffure in modern Japan. Dr. K. Takahashi.
The Influence of Court Ladies on the Politics of Shōgun Ashikaga Yoshimasa. (Part I.) Prof. H. Miura.
Notes on the Gangoji-Engi, (A History of the Gango Temple), found in the Daigo Temple. (Part II.) Dr. S. Kita.

Miscellanies :

- The Elegy of Chinghizkhan. H. Oshibuchi.
Origin of the phoenician Alphabet and the Inscription of Moses. Y. Nakahara.
Some Materials for the chronological Study of Mirrors with the Design of Deities and sacred Animals. S. Umehara.
The Shore-line of The Japan Sea, A geographical Study based on prehistoric Remains. (Part I.) S. Komaki.
'The Influence of the Orient on the Occident, Specially during the Middle Age,' by George Jacob. (Part I.) I. Miyasaki.
Carter's 'Invention of Printing in China' Prof. S. Kuwabara.

-
- A Guide to the Study of Historical Architecture in Japan. (Part XVII). Prof. T. Amanuma.

Reviews and News.

PUBLISHED

BY

THE SHIGAKU-KENKYU-KWAI

[THE HISTORICAL SOCIETY]

THE KYOTO IMPERIAL UNIVERSITY.

JAPAN.